

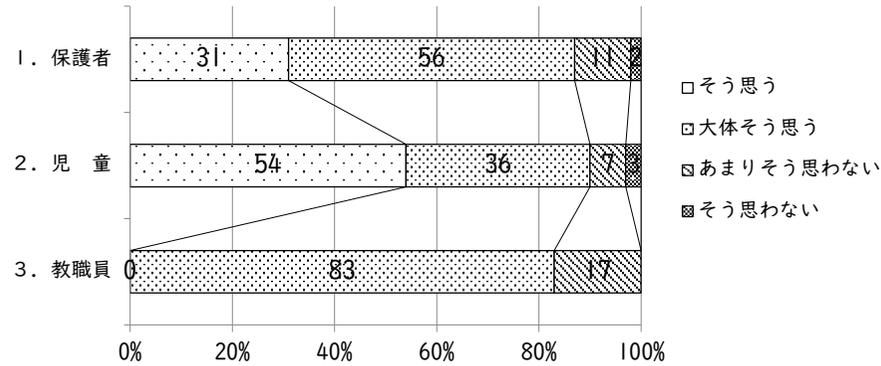
令和4年度 伏見南浜小学校
第1回学校評価
アンケート結果と考察
～学習面～



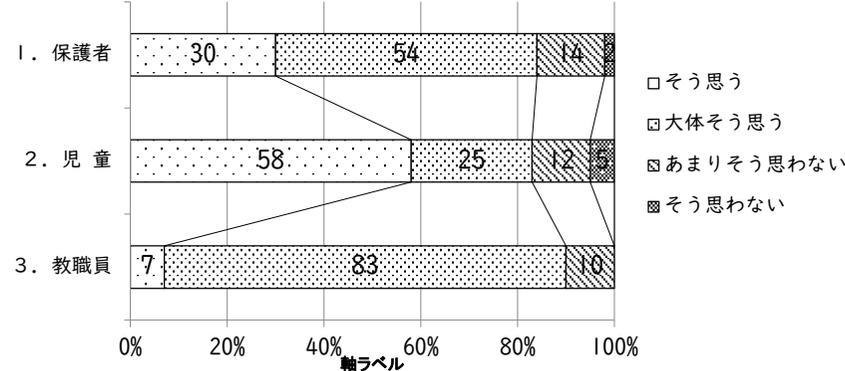
学校評価アンケートは、保護者・児童・教職員の3者が毎日の生活を振り返り、今後への改善につなげるものです。子どもたちの頑張っている姿、そして保護者の方々からの学校に対する期待を十分に受け止め、今後の学校教育活動へと生かし、より良い伏見南浜小学校にしていきたいと考えています。



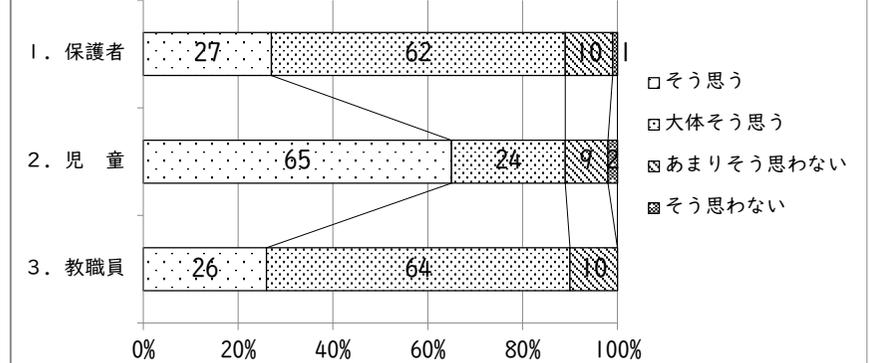
- ⑥ 1. 我が子には、読む・書く・計算するといった、基礎的・基本的な学力が身についている。
2. けいさんやかんじ（ひらがな・かたかな）のちからが、みにっている。
3. 読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身についていると思う。



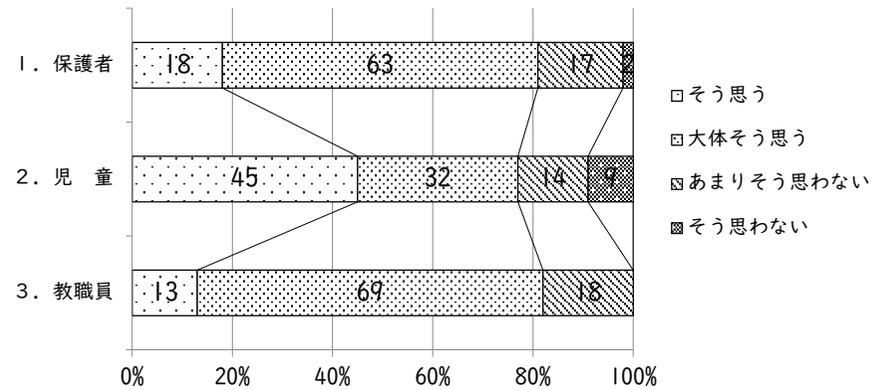
- ⑦ 1. 我が家では、家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。
2. おうちで、じぶんから、しゅくだいやがくしゅうをしている。
3. 家庭学習の習慣が定着していると思う。



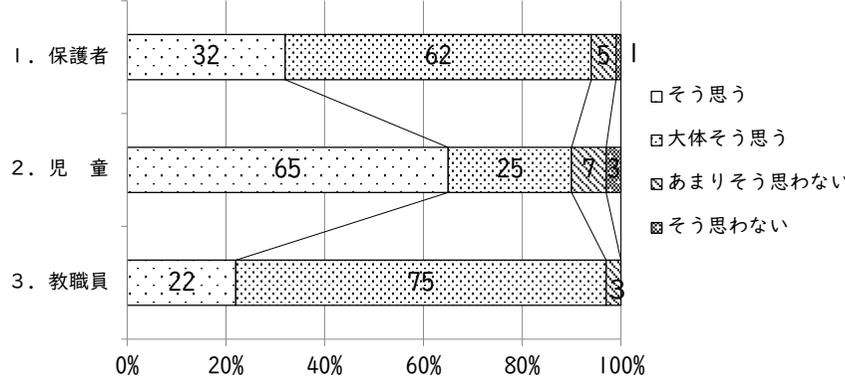
- ⑧ 1. 学校・学年・学級だより等のお知らせを丁寧に読んでいる。
2. がっこう・がくねん・がっきゅうのおたよりを、おうちのひとにわたしている。
3. 学校・学年・学級だより等のお知らせを、子どもと丁寧に読んでいる。



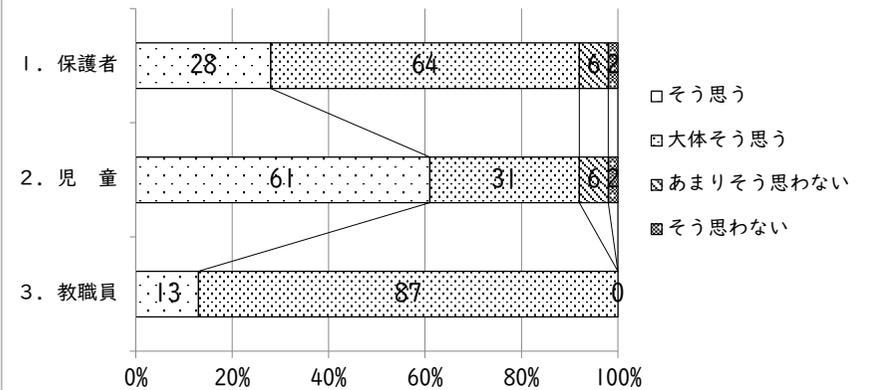
- ⑨ 1. 本校の学校教育目標を知っている。
2. がっこうのきょういくもくひょうが いえる。
3. 本校の学校教育目標が、子どもや保護者に伝わっていると思う。



- ⑩ 1. 学校が「子どもたちの過ごしやすい学校づくり」を進めていると感じる。
2. あんしんして、がっこうですごしている。
3. 子どもたちの過ごしやすい学校になっていると思う。



- ⑪ 1. 学校が「子どもたちの力がつく学校づくり」を進めていると感じる。
2. がっこうでがくしゅうしたことをとおして、じぶんがせいちょうしたとかんじる。
3. 子どもたちの力がつく学校になっていると思う。



2. 学習面

- ⑥「基礎的・基本的な学力が身についているかどうか」の回答については、「そう思う」について、保護者・児童・教職員で捉え方の差が見られました。54%の子どもたちが「そう思う」と回答していましたが、それに対して、教職員の「そう思う」は、0%でした。これは、全ての子どもたちへ確実に基礎学力を定着させたいという教職員の願いが表れていると考えられます。本校の目指す資質・能力の一つである「読解力」を大切にしながら、今後も、子どもたちの基礎的・基本的な学力の向上を目指し、授業改善や補充学習の充実を図り、子どもたちの学力向上へと取り組んでいきたいと思ひます。
- ⑦「家庭学習」については、「そう思う・大体そう思う」が3者とも80%を超えており、多くの児童が家庭学習を大切にしている様子が伺えます。一方で昨年と比べると、「そう思う・大体そう思う」が保護者と児童でそれぞれ4%、教職員で2%減少しています。家庭学習の大切さを今一度考え、引き続きご家庭と協力しながら子どもたちの成長にかかわっていかねばと思ひます。
- ⑧「お便り」については、保護者・児童・教職員の3者ともに昨年とほとんど変化がなく、「そう思う・大体そう思う」が約90%となっています。学校ホームページも含めて、更に分かりやすく学校の様子を発信していきたいと思ひます。
- ⑨「本校の学校教育目標」については、他の項目と比べると3者とも少し低い数値になっています。「笑顔 かがやく 南浜の子～つながりを広げ、深く学び豊かに表現する姿をめざして～」この学校教育目標をもっと教職員から発信していきたいと思ひます。そして、児童・保護者・教職員の3者が常にこの目標を意識して教育活動を進めていければと思ひます。
- ⑩「子どもたちの過ごしやすい学校づくり」については、「そう思う・大体そう思う」の数値が保護者・児童・教職員共に90%以上となり一定の評価はできると思ひます。しかし、児童の「そう思わない」が3%あり、安心できていない児童がいることも分かります。安心の獲得のためには、安全の確保と互いの信頼が必要だといわれています。安全を確保し、信頼関係を築いて、全ての子どもたちが安心して登校できる学校を教職員全員で目指していきたいと思ひます。
- ⑪「子どもたちの力がつく学校づくり」についても、他の項目と同じような回答が得られました。成功体験や成長したと実感することで自己肯定感が高まります。「そう思う」と回答する児童・保護者が増加するよう、今後子どもたちがよりよく成

